

平成25年度 甲賀市財務書類4表〈概要版〉 (単体)

総務部
財政課

新地方公会計制度に基づき、平成25年度の一般会計と全ての特別会計と企業会計を合算した市全体の財務状況がわかる「財務書類4表」の概要をお知らせします。

貸借対照表

資産の部

減価償却により資産価値が約7億円減少

市は道路や橋梁などのインフラ資産や、学校や庁舎などの事業資産、現金や債券などの金融資産といった多くの資産を保有していますが、インフラ資産の経年劣化による価値の減少(減価償却)が影響し、総資産は前年度比で約7億円減少し、約2,406億円となっています。

負債の部

市債の償還で負債総額が約15億円減少

市ではさまざまな施設を整備するために市債を発行してきましたが、平成25年度では過去に発行した市債の償還を進めるなどして、負債総額は前年度比約15億円減少しました。資産総額から負債総額を差し引いた純資産の額は前年度比から約9億円増加し、約1,561億円となっています。

平成26年3月31日現在

単位：百万円

資産の部 (これまで積み上げてきた資産)				負債の部 (将来の世代が負担する金額)			
勘定科目	24年度末	25年度末	対前年比	勘定科目	24年度末	25年度末	対前年比
金融資産合計	20,278	21,130	852	流動負債	7,825	7,741	▲84
資金	5,795	5,903	108	公債(短期)	5,423	5,569	146
債権	2,516	2,620	104	短期借入金	0	0	0
(控除)貸倒引当金	▲117	▲134	▲17	その他	2,402	2,172	▲230
有価証券	0	0	0	非流動(固定)負債	78,149	76,722	▲1,427
投資等	12,084	12,741	657	公債	70,067	68,991	▲1,076
非金融(公共)資産合計	220,940	219,428	▲1,512	借入金	0	0	0
事業用資産	90,882	91,031	149	引当金	7,436	7,356	▲80
インフラ資産	130,058	128,397	▲1,661	その他	646	375	▲271
繰延資産	0	0	0	負債の部合計	85,974	84,463	▲1,511
				純資産の部 (現在までの世代が負担した金額)			
				純資産の部合計	155,244	156,095	851
資産の部合計	241,218	240,558	▲660	負債・純資産の部合計	241,218	240,558	▲660

市民1人当たりの貸借対照表

市民1人あたりの貸借対照表は、上記の貸借対照表の値を平成26年3月31日現在の甲賀市の人口93,154人で割ったものです。

市民1人あたりの資産は約258万円、負債は約91万円、純資産は約167万円となっています。

資産 約258万円 うち、事業用資産 97万円、 インフラ資産 138万円	負債 約91万円 うち借金(市債)残高80万円
	純資産 約167万円

行政コスト計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

単位：百万円

純行政コストは前年度比約8億円の増加

福祉や教育などの資産形成に繋がらない人的・給付的な行政サービス提供にかかったコスト（人件費、物件費、補助金など移転支出的な費用を合わせた総行政コスト）は、約483億円となり、前年度比約7億円の増加となりました。

一方、行政サービス提供の対価である使用料、手数料などの経常収益は前年度比横ばいの約63億円となり、純行政コストは前年度比約8億円増の約420億円となりました。

勘定科目	24年度末	25年度末	対前年比
経常費用(行政コスト総額)	47,541	48,282	741
人件費	8,485	8,009	▲476
物件費	8,494	8,534	40
経費	5,091	5,409	318
業務関連費用	1,538	1,468	▲70
移転支出	23,933	24,862	929
経常収益	6,289	6,265	▲24
業務収益	5,335	5,218	▲117
業務関連収益	954	1,047	93
純行政コスト (経常費用－経常収益)	41,252	42,017	765

純資産変動計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

単位：百万円

純資産は前年度比約9億円の増加

財源変動の部は、財源の使途よりも財源の調達が大きくなり約17億円のプラスとなりました。

また、資産形成充当財源変動の部は、事業用資産、インフラ資産の減耗、償却による資産価値の低下により純資産が約10億円減少しました。

その他の純資産変動も加味した平成25年度末の最終的な純資産は、約9億円増加し約1,561億円となりました。

勘定科目	24年度末	25年度末	対前年比
前期末残高	156,270	155,244	▲1,026
財源変動の部	1,631	1,749	118
財源の使途	49,308	48,506	▲802
財源の調達	50,939	50,255	▲684
資産形成充当財源変動の部	▲2,068	▲1,019	1,049
固定資産の変動	▲3,773	▲1,507	2,266
長期金融資産の変動	1,649	503	▲1,146
評価・換算差額等の変動	56	▲15	▲71
その他の純資産変動の部	▲589	121	710
当期変動額合計	▲1,026	851	1,877
当期末残高	155,244	156,095	851

資金収支計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

単位：百万円

基礎的財政収支は約27億円の黒字を確保

経常的収支、資本的収支を合計した基礎的財政収支(プライマリーバランス)は、前年度比約11億円の減少になったものの約27億円の黒字を確保しました。

この基礎的財政収支が黒字でないと、市債残高を減らすことができないため、財政状況をみるうえで重要な指標となります。

市債の発行収入と元利償還金支出の収支を表す財務的収支は、市債の償還を進めているため、約26億円のマイナスとなりましたが、基礎的財政収支の黒字を差し引くことで、当期資金収支は1億円の黒字となりました。

勘定科目	24年度末	25年度末	対前年比
経常的収支区分	6,976	5,704	▲1,272
経常的支出	42,821	44,105	1,284
経常的収入	49,797	49,809	12
資本的収支区分	▲3,111	▲2,984	127
資本的支出	4,719	3,444	▲1,275
資本的収入	1,608	460	▲1,148
基礎的財政収支	3,865	2,720	▲1,145
財務的収支区分	▲3,286	▲2,612	674
財務的支出(注)	7,841	7,490	▲351
財務的収入	4,555	4,878	323
当期資金収支	579	108	▲471
期首資金残高	5,216	5,795	579
期末資金残高	5,795	5,903	108

(注) うち、公債・借入金
支払利息支出

1,497 1,408 ▲89